

事故から9年

東京電力は福島原発事故の責任をとれ！

2020年 3/7 (土)

東電本店へ
行こう！

追悼と東電抗議

柏崎刈羽原発再稼働するな！汚染水止めろ！



第78回 東電本店合同抗議



2020年3月7日(土) 13:00~14:30 於：東電本店前

場所：東京電力本店前（東京都千代田区内幸町）

JR・地下鉄新橋駅徒歩5分、地下鉄三田線内幸町駅徒歩3分

呼びかけ：経産省前テントひろば(070-6473-1947)、たんぽぽ舎(03-3238-9035)

賛同：東電株主代表訴訟、ピースボートなど135団体

2011年3月11日の東京電力福島第一原発事故発生以来、丸9年が経過する。しかし、原発事故被害者への補償・賠償は値切られ続け、放射能汚染水は増え続けている。事故収束の見通しは立たず、約4,000人の作業員が被ばくしながら現場を支え続けている。子どもの甲状腺ガンが200人を超えた。

一方、国民の半数以上が原発再稼働に反対している中、川内原発、玄海原発、高浜原発、大飯原発、伊方原発が再稼働した。これは、東電が事故発生時の責任企業でありながら、責任を取らなくても許されているからだ。

ところが、東電福島原発事故の刑事責任を問う裁判で、東京地裁は2019年9月19日、「勝又恒久元会長ら旧経営陣3人は無罪」という不当判決を下した。

そして、東電福島原発事故で実質国有化され、国民の税金で存続している東電が、10月28日の取締役会で、東海第二原発を所有する日本原電へ2,200億円超の資金支援を決定した。さらには、柏崎刈羽原発の再稼働に積極的だ。

私たちは、東電の責任を明確にし、その責任を取らせなければならない。

私たちは「福島」をどこまでも忘れないし、福島原発事故の惨状を許しません。

東電本店前に集まり、抗議の声を上げよう！福島と連帯しよう！



東京電力への意見は、以下へ。
お客さま相談室：050-3066-3033

抗議内容

(1) 発言者（依頼中）

- 1) 福島から：鴨下祐也（福島原発被害東京訴訟・原告団長）、
亀屋幸子（双葉町から避難）、地元から（福島県、又は新潟県）
- 2) 鎌田 慧（ルポライター）、木村 結（東電株主代表訴訟）、
大石 光伸（常総生協）、山崎 久隆（たんぽぽ舎）、肉球新党

(2) 音楽：日本音楽協議会、豊岡 マッシー（沖縄出身）、多摩川太鼓の演奏

3/7 (土)
日本原電への
抗議行動案内

「とめよう！東海第二原発 日本原電本店抗議」

日時：3月7日(土) 15:30~

地図は裏面参照

場所：日本原電本店前（東京都台東区上野5-2-1）

主催：とめよう！東海第二原発 首都圏連絡会

協力：再稼働阻止全国ネットワーク